

2021年2月19日

横浜ゴム、北海道タイヤテストセンターの屋内氷盤試験場に新冷媒装置を導入

横浜ゴム（株）は2020年11月、北海道旭川市にあるタイヤテストコース「北海道タイヤテストセンター（Tire Test Center of Hokkaido=TTCH）」の冬用タイヤの氷上性能をテストする屋内氷盤試験場に、全長約100mの国内最大級となる冷媒装置を備えた氷盤試験路面を設置しました。

冷媒装置を導入した新氷盤路は、氷の表面温度を -10°C ～ 0°C までコントロールすることが可能な能力[※]を備えています。これにより、スタッドレスタイヤの開発で重要な 0°C 付近の高温域から低温域まで様々な氷上路面でのタイヤ試験を安定した試験条件により行うことが可能となりました。さらに、初冬の外気温に左右されずに氷盤路面を作ることができるようになったため、氷上制動試験の開始時期を早めるなど開発期間の自由度が向上しました。このため、スタッドレスタイヤからスタッドタイヤ、オールシーズンタイヤまで多様なカテゴリーに対応した冬タイヤの開発を、高精度かつ効率的に行うことが可能になりました。

TTCHはタイヤ事業のグローバルな拡大に伴う評価数の増加や評価手法の高度化に対応するため、2015年12月に開業したテストコースで、乗用車およびトラック・バス向け冬用タイヤの試験を実施しています（春から秋は夏用タイヤの試験にも活用）。屋内氷盤試験場は冬用タイヤのさらなる高性能化を目指して2018年1月に開設しています。

横浜ゴムは、冬用タイヤテストコースとしてTTCHのほか、スウェーデンに「YOKOHAMA TEST CENTER of SWEDEN (YTCS)」を設置しています。TTCHでは世界中で販売する全ての冬用タイヤの試験を行い、YTCSでは欧州大陸やロシア・北歐向け商品の確認評価を実施しており、各国・地域の冬路面に最適な冬用タイヤの開発を推進しています。

※基準の室温が 5°C の場合



屋内氷盤試験場に導入した新冷媒装置（左）と室内氷盤路

北海道タイヤテストセンターの概要

名称： 北海道タイヤテストセンター（英文：Tire Test Center of Hokkaido = TTCH）
開業： 2015年12月
所在地： 北海道旭川市神居町上雨紛 500（かむいちょうかみうぶん）
敷地面積： 906,462 m²
試験対象： 乗用車およびトラック・バス向け冬用タイヤ（春から秋は夏用タイヤの試験にも活用）
試験コース： 速度 100km/h 超での高速試験が可能な直線約 1km の圧雪路を持つ全長 2.3km の周回路
氷盤路、雪上/氷上登坂路、雪上/氷上旋回路、勾配 5%の全長 1.1km の圧雪ハンドリング路

屋内氷盤試験場の概要

建物寸法： 全長 119m、全幅 24m、室内高（最高部）8.8m
延床面積： 2,859.6 m²
構造： 鉄骨造平屋建て
稼動： 2018年1月

このリリースに関するお問い合わせ先

横浜ゴム（株）経営企画部 広報室 担当：岡

TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570